

本書の構成

「情報の科学」の大きな目標は、「情報社会の発展に主体的に貢献する能力と態度を身につけること」である。そのためには、次の二つのことが必要である。

- 情報社会を支える情報技術の役割や影響の理解
- 情報と情報技術を問題の発見と解決に効果的に活用するための科学的な考え方の習得

本書では、「情報社会を支える情報技術の役割や影響の理解」をおもにネットワーク編で、「情報と情報技術を問題の発見と解決に効果的に活用するための科学的な考え方の習得」をおもに問題解決編で学習する。これら2編の学習を通して、よりよい情報社会にする能力や態度を身につけよう。

序章 情報社会に生きるわたしたち

ネットワーク編

情報社会を支える情報技術の役割や影響を理解する。

- 第1章 コンピュータによる情報の処理と表現
- 第2章 ネットワークがつなぐコミュニケーション
- 第3章 情報システムが支える社会

問題解決編

情報と情報技術を問題の発見と解決に効果的に活用するための科学的な考え方を習得する。

- 第4章 問題の発見・分析と解決の方法
- 第5章 問題解決と処理手順の自動化
- 第6章 モデル化と問題解決
- 第7章 情報通信ネットワークと問題解決

ページの構成

← 本書の構成見本

●節見出し 節で学ぶ学習課題のテーマを示している。

●大見出し 見開きで学習するテーマ。

●小見出し 学習のキーワード。

●リンク 青字・下線で関連する内容のページを示す。

●図版 学習内容の補足資料。

●コラム 学習内容に関連した内容。

●深める 学習内容を深める内容。

●章末問題 各章末には、各章の内容を理解したかどうか確認できる章末問題を置いている。

●側欄 本文で用いた用語の解説や資料。

●実習 学習内容に対応した実習。

※本書で扱うRGBカラーについては、印刷用にCMYKに変換しているため、実際のコンピュータ画面の表示色とは、異なる場合があります。ご注意ください。

序章

情報社会に生きる わたしたち

第1節 情報社会と問題解決

- 情報社会とはどんな社会なのか考えよう。
- これからこの科目でどんなことを学んでいくのか確認しよう。

